

平成27年度

県立広島大学に関する主な報道記事

平成27年度 県立広島大学に関する主な報道記事

○ 教育活動に関する記事

No.	掲載日	掲載紙等	題名
1	6月12日	中国新聞	県立大と庄原格致高 連携 模擬講義などで協定
2	9月1日	"	平和公園一帯の役割は 本社記者講座始まる「地域情報発信論」
3	9月17日	"	16年に経営専門職大学院 地方で活躍する人材育成
4	9月27日	中国セレクト	瀬戸内旅行プラン競う 広島で研究大会 国内外10大学が提案
5	11月10日	中国新聞	MBAコースで地域の人材育成 県立広島大、来春に開設 中小・農業の経営進化学ぶ
6	2月12日	"	国際キャリアどう培う 中高生・学生に外交官ら講演(県立広島大学が主催)

○ 研究成果に関する記事

No.	掲載日	掲載紙等	題名
7	10月27日	中国新聞	超音波での害獣撃退 始動 県立広島大学准教授・庄原の企業開発 モニター機今月末発売
8	1月8日	日経新聞	医療用むくみ防止靴下 広島県・県立広島大と開発 自社ブランドで発売へ
9	1月19日	中国新聞	汚染土 磁力で選別 放射性物質の性質応用 環境に優しく低コスト

○ 地域貢献・地域連携に関する記事

No.	掲載日	掲載紙等	題名
10	6月30日	中国新聞	若者パワーで江田島元気に 県立広島大の6人グループ結成
11	7月24日	"	学生が腕により 広島食材レシピ 県立広島大で披露
12	7月28日	"	大学生が「おもてなし研究部」 優れた宿泊施設・飲食店発掘
13	8月31日	"	トライアスロンさぎしま 島内外の市民 力合わせ支援
14	10月15日	市民と市政	高齢者の「食」を提案 男性高齢者の料理教室の支援
15	10月23日	中国新聞	寄り添い地域農業守る 学生の支え(庄原キャンパス「ファーマーズハンズ」)
16	11月30日	"	大学生カフェ笑顔の輪 安佐北区民家に出張「交流拠点に」
17	12月25日	"	庄原の産学連携 ゆずポン酢誕生 きょうから販売
18	3月11日	"	三原の空き家調べ卒論 県立広島大生2人 活用策も提案

○ その他の記事

No.	掲載日	掲載紙等	題名
19	9月9日	中国新聞	大学LINE利用増 高校生向け情報発信「友だち」感覚に期待

県立大と庄原格致高連携

模擬講義などで協定

6/12 中国



中村学長④の立ち会いの下、協定を結び、握手する奥学部長⑤と今岡校長

ともに庄原市にある県立広島大生命環境学部と庄原格致高は11日、学生、生徒の学習意欲の向上や教育現場の活性化を目的に連携協定を結んだ。学部による格致高生向け模擬講義や、学部教員による同高での出張講義の開催などが柱。高大連携協定の締結は両校とも初めて。

協定は6条からなる。模擬講義は心理学や化学などで、学部教員が格致高に定期的に出向いて論文の書き方なども指導する。同高

は、学部の教職課程履修者を受け入れる。昨年、格致高生向けに開かれた学部の模擬講義をきっかけに、同

高が連携協定を提案。「大学への関心につながれば」と学部側も応じた。

この日、県立広島大庄原キャンパスであった調印式では、中村健一学長の立ち会いの下、奥学部長と今岡護校長が協定書に調印した。「じかに大学と触れることで、生徒の学習意欲向上にもつながってほしい」と今岡校長。奥学部長は「県北の教育機関同士の連携で、地域にも貢献できる交流ができれば」と期待している。

(伊東雅之)

H27.9.1(X)

平和公園一帯の役割は 県立広島大 本社記者講座始まる

中国新聞社の記者たちが講師を務める県立広島大の集中講座「地域情報発信論」が31日、広島市中区のサテライトキャンパスひろしまで始まった。中国地方の大学・短大27校が加盟する一般社団法人教育ネットワー



菊本記者（右端）の助言を受けながら新聞記事を読み込む受講生

ク中国との連携事業で、4日まで5日間ある。テーマは、中区の平和記念公園一帯の在り方について。同大1年生や単位を互換できる他の大学、高専の計約90人が参加した。初日は報道部の菊本孟記

者(32)が、原爆犠牲者を慰霊し平和を願う公共の場としての役割について解説。周囲との景観をめぐる問題が起きていることにも触れ「さまざまな意見を聞く努力が必要」と情報収集の大

切さを強調した。同大の中野有紀さん(19)は「ネットでは偏った意見もある。新聞をうまく使い、多様な価値観を学びたい」と話していた。講座は、新聞記事や講話

を通して地域の課題について学び、自らの考えを発信する力を養うのが狙い。模範取材やグループ討議もあり、最終日に同公園の将来像について意見をまとめる。(奥田美奈子)

理学療法学科1年

H27.9.17(木)

16年に経営専門職大学院 県立広島大・中村学長に聞く

県立広島大(広島市南区)

は2016年4月、中国地方初の経営専門職大学院を設置する。全国でも珍しい農業経営や中小企業経営を履修コースの柱に据える。

中村健一学長は中国新聞の取材に、地方で活躍する人材の育成に重点を置き、地元企業や農業法人、医療機関などの課題解決を支援したいと述べた。(有岡英俊)

一なげ今、経営専門職大学院を開設するのですか。

05年に県立保健福祉大など三つの県立大を統合し、県立広島大となつて10年。これまで自治体などの依頼を受け、農業や医療、福祉など幅広いテーマで124件の地域課題の研究に取り組んだ。研究成果を踏まえ、新たなビジネス

7/4

地方で活躍する人材育成

モデルを創出し、地域を引っ張っている産業の担い手やリーダーを養成する必要性があると考えた。社会人が、経営修士(専門職)「(MBA)を取得できる場だ。

履修分野の特色や育成する人材像は。大企業のビジネスプランづくりを目的とする大都市の大学の経営学修士コースと違うのは、広島を中心に、地方に送り出す人づくりを目的としている点だ。農業や中小企業の担い手不足など地方が抱える課題の解決を目指す内容に

特化している。例えば農業の分野では、産業としての農業の確立に尽力できる人材を育てていく。現在の農地、人材の集約化に加え、加工、販売まで通年で収益を上げる仕組みを練られる人材をつくるため、マーケティングや地域のブランド戦略を教える。優れたものづくり技術を持つ中小企業の経営者向けに、新事業にチャレンジするための経済知識やノウハウ履修を用意する。教員スタッフなどの体制をどう組みますか。



「農業や中小企業を強くする経営力ある人材を育てたい」と語る中村学長

農業・医療の課題解決支援

専任教員は12人で、企業などでの実務経験がある7人を含め、11人は新たに採用する予定でいる。実践的な経営戦略や組織マネジメントを教えるためだ。こうした教員陣の下、地元企業や農業法人、医療機関にどんどん出掛け、それぞれの問題点を見つけ、解決のプランをつくることにも重点を置く。

本学の前身の一つは広島女子大。女性の高等教育の歴史や経験がある。女性が経営やマネジメントを学び、力を発揮してほしい。入学状況によっては、託児サービスなども検討し、学びやすい環境整備に努めたい。

県立広島大の経営専門職大学院履修コースの柱は、①農業経営②中小企業経営③医療・介護経営④ベンチャービジネス。対象は主に社会人で定員25人。平日夜間と土曜に開講し、2年(最長4年)で専門職の経営修士(MBA)を取得できる。初年度の入試は11月と2月の2回。8月31日に文部科学省から設置認可を受けた。

クリック

県立広島大は9、10月の計4回、庄原市七塚町の同大庄原キャンパスで一般を対象に無料の「大人のための高校教養講座」を開く。

大人のための教養講座

30日から県立広島大

て▽10月7日は、総合教育センターの岡田高嘉講師の「憲法の基礎と立憲主義」分、それ以外は午後1時から「憲法改正について」▽14日は、生命環境学部の遠藤伸治教授の「心の読み書き」▽19日は、同学部の馬本功教授の「どうなる？」

日本の英語教育」。

10月7日が午前10時40

分、それ以外は午後1時か

らで各1時間半。フアックス

08024(74)0191

などで9月28日までに申し

込む。同キャンパス総務課

08024(74)1000

0。

瀬戸内旅行 プラン競う

広島で研究大会
国内外10大学が提案

9/27
中国
セレクト

瀬戸内地域を舞台とした旅行プランを競う研究大会が26日、広島市南区の県立広島大であった。1次審査を通過した国内外の10大学の学生たちがプレゼンテーションをした。

最優秀賞となった東洋大の松丸結さん(20)と谷麻衣香さん(20)は、村上水軍を模した漁船に乗り宝探しをしながら瀬戸内の島々を巡る子ども向けプランを提案。「楽しみながら瀬戸内の魅力を感じられる」と強調した。

審査員特別賞には、過疎高齢化など地域の課題を学ぶプランを発表した県立広島大と、インドネシア教育大の2チームが選ばれた。

大会はJTB中国四国などでつくる実行委員会と日本財団が主催。17大学23チームの応募があり、産学官の有識者が1次審査と本大会で、プランの独創性や実現可能性などを基に選考した。

(和多正憲)



瀬戸内地域を舞台にした旅行プランを発表する県立広島大の学生

MBAコースで地域の人材育成

県立広島大学が2016年4月、経営学修士(MBA)コースを開設する。中国地方で初のMBAコースで地元企業と連携するなど現場に即した独自カリキュラムが特徴だ。グローバル企業で経営幹部の候補として活躍する人材を育てる従来型のMBAコースとは一線を画し、中小企業や農業など地域の課題を解決するリーダーを育成する。

県立広島大、来春に開設

1年目にリーダーシップや経営戦略といった基礎科目、イノベーション(技術革新)や会計などの応用科目を履修。2年目に専門科目と修士論文の代わりとなるビジネスプランを作成する実践科目を学ぶ。

専門科目は「ものづくり経営」「サービス経営」に分かれる。例えば、ものづくり経営の「ものづくりの哲学と戦略」という科目では教育プログラムをマツダと共同開発する。

県立広島大のMBAコースの概要

入学定員	25人	専任教員	12人
入学料	28万2000円 (広島県外の人は39万4800円)		
授業料	年53万5800円		
学位名称	経営修士(専門職)		
授業時間	平日18時30分～21時30分(2時限) 土曜日9時～19時30分(6時限)		

地元が支援組織
特徴である実践的な教育

中小・農業の経営進化学ぶ



育を果のあるものにするため、広島銀行の角広勲会長をアドバイザーとする地元企業の支援組織を発足した。ビジネスプランを作る際に広島銀の顧客を紹介してもらったり、医療関係では先進的な経営をしている病院に事例を学びに行ったりと、ケーススタディーがやりやすいように地元企業と協力する。

ド・カンパニー東京支社長を務めた横山植徳氏を「経済のリーダーを育てないといけない」(中村健一学長)という言葉を大学外から招き、企業経営などの経験を持つ人材をそろえた。

栗栖恭三事務局長は「MBAコースは学問を学ぶところではなく、実践していく場」と強調する。

広島県立大学、県立広島女子大学、広島県立保健福祉大学の3大学が統合し県立広島大学が設置されたのは05年。これまでに自治体やNPOと共同で地域課題の解決に取り組むなど実践的な教育を手掛けてきた。

地域課題解決の研究をとも可能にした。

前身の1つが女子大といつこともあり女性の入学も見込む。MBAコースの紹介を兼ねて開催している無料の「ビジネスリーダー育成セミナー」では女性を対象にしたプログラムも実施した。栗栖事務局長は「農業や医療・介護といった業種は女性とも親和性が高い」と話す。

少子高齢化や産業のグローバル化といった課題は広島だけでなく、全国のどの地域も抱える。「地域に根差したMBA(中村学長)という県立広島大の取り組みが成功すれば他地域のモデルにもなりそうだ。」

(広島支局 篤田聡志)

女性の入学期待

4日に第1次募集を開始し、9日までに30人が出願した。28日に小論文と面接で試験をし、入学者を決める。1月下旬には2次募集も行う。大学を卒業した人も応募できるが社会人がメインになる。基本は2年のコースだが、仕事をしながらでも学び続けやすいように同じ学費で4年間通つくりそうだ。

2016年(平成28年)2月12日(金曜日)

中国

国際キャリアどう培う

中高生・学生に外交官ら講演

外務省や国連機関のアセミナーが11日、広る人材を育てようと県立広島大が主催。中高生や大学生たち約100人が参加した。

要国首脳会議(伊勢志摩サミット)に先立つて4月に市内である外相会合を前に、世界で活躍でき

る人材を育てようと県立広島大が主催。中高生や大学生たち約100人が参加した。外交官たち4人が講演した。国連訓練調査

研究所(ユニタール)のユニケーション能力など求められる能力を説明。英語以外に、アメリカの多くの国で公用語とされているフラン

ス語を身に付けると有利と助言した。呉市の高校2年香野実紅さん(17)は「具体的な仕事内容が分かってよかった。今夏、米国に留学するのでボランティア活動などをして異国の文化を学びたい」と気持ちを高ぶらせていた。

マッケンジーさん(左端)の講演に聞き入る参加者



リン・マッケンジーさん(40)は、発展途上国などの公務員の研修を受け入れる業務を紹介。「被爆から復興したヒロシマが世界に力を与えている」とし、海外から注目されている都市だと強調した。

国際協力機構中国

際センター(JICA中国)市民参加協力課の内藤徹課長(49)は、専門分野の知識やコミ

ス語を身に付けると有利と助言した。

呉市の高校2年香野実紅さん(17)は「具体的な仕事内容が分かってよかった。今夏、米国に留学するのでボランティア活動などをして異国の文化を学びたい」と気持ちを高ぶらせていた。

(川手寿志)

H27.10.27(火)



超音波での害獣撃退始動

10/27 中国

県立広島大生命環境学部(庄原市)の三苫好治准教授(45)は環境化学IIと県内の企業が開発した超音波を使った害獣撃退装置のモニター機が今月末、発売される。

三苫准教授と庄原市の長岡鉄工建設が共同開発し、広島市佐伯区のラボテックが製造する特許申請中の商品。幅28センチ、高さ39センチ、奥行害獣撃退用モニター機を前にする三苫准教授(左)と長岡鉄工建設、ラボテックの担当者(右)。

県立広島大准教授・庄原の企業開発

モニター機 今月末発売

重さ7キログラムで、表面はステンレスで覆われている。温度、動体センサーが前方7メートル以内に入った動物を感知すると、人には聞こえない2万ヘルツの超音波を90度の音場で発信。イノシシやシカの侵入がなくなる。

単1形乾電池8本か12ボルトバッテリーで、1日1時間作動した場合、約半年、使用できるといふ。

三苫准教授たちは、イノシシやシカが出る庄原市の畑や北広島町の車道で昨年6月から実証実験。監視カメラで確認したところ、雨や霧の日に多少の出没が認められたが、それ以外は寄り付かなかった。そのためスピーカーの水ぬれを防ぐ設計に変更し、性能向上を図った。

モニター機は約10台。使い勝手や性能の意見をもらうことを条件に、税込み12万9600円で販売する。一般販売は来春。庄原市が市民還元型の研究に補助する同大との連携事業による開発。三苫准教授は「実験などでお世話になった市民に貢献できそう。今後、高速道での動物侵入防止などにも応用できるのでは」と期待している。長岡鉄工建設☎08224(72)0990。(伊東雅之)

医療用むくみ防止靴下

コーポレーションパールスター

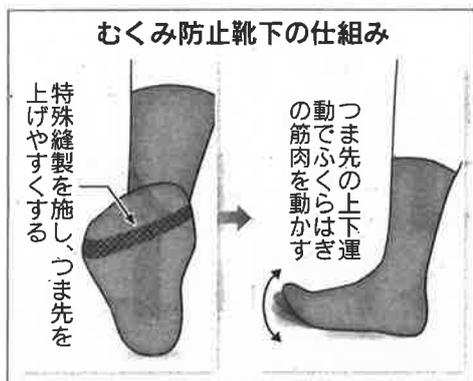
転倒防止靴下など機能性靴下の製造・販売を手掛けるコーポレーションパールスター（広島県東広島市）は、自社ブランドの医療用靴下を本格展開する。広島県、県立広島大学と共同で手術中や術後の患者が使うむくみ防止靴下を開発、改良を進め今年中にも発売する。医療用靴下を強化し、5年後をメドに売上高8億円（2015年7月期は約3億円）を目指す。

開発中の手術用靴下はわずかな力でつま先の上

広島県・県立広島大と開発

自社ブランドで発売へ

1/8 日経



特殊縫製は機械では再現できないため、手縫いしている（縫製工場の様子）

下運動を促す特殊な縫製を施した。足先を動かすとふくらはぎの筋肉が動き、リンパや血液の流れを改善しむくみ・血栓を防ぐ。特殊縫製は同社の独自技術を生かしており、一つ一つを手編みで

製造している。今月から県立安芸津病院（広島県東広島市）で試験導入を開始した。手術中や術後の患者は長い時間同じ姿勢をとるため、むくみや血栓を防ぐ専用の靴下をはく。現在

要拡大が見込める病院患者向け商品も拡充する狙い。足先の血行を確認しやすくするため、靴下のつま先部分を開け閉めできる仕組みを備える。価格は未定だが、従来手術用靴下と同等の5000円前後を想定しているという。手術に使う場合は医療費控除の対象となるため、患者の実質負担はそれよりもさらに軽減される見込み。

同社はテルモなど大手メーカーからの受注生産を手掛けてきた。現在は独自技術を活用した自社ブランド製品の開発に力を入れている。14年には医療用途に製品を応用できる「医療機器製造業許可」、その販売も可能となる「医療機器製造販売業許可」を取得。

直近の売上高に占める自社ブランド製品の割合は5割弱とみられるが、医療用途向け靴下の開発・販売の強化で、5年後に自社製品の売上高比率を7割程度に引き上げる方針だ。

広島県は製造業が医療・福祉分野へと進出する医工連携を進めている。県内企業の医療関連事業拡大などを促し、20年度に県内の医療機器等生産額を1000億円以上（10年度は90億円）に引き上げる目標を掲げている。行政の後押しもあり、製造業者の技術を生かした医療関連事業は今後も裾野が広がりそうだ。

汚染土磁力で選別

県立広島大の三苫准教授ら 放射性物質の性質応用

県立広島大生命環境学部(庄原市)の三苫好治准教授(45)は環境化学Ⅱの研究グループが磁性鉄粉を使った汚染土選別装置を考案した。同准教授と東京の機械メーカーが試作機の製造を始める。電荷による作用で磁性鉄粉と放射性物質の含有物が吸着する性質を応用。既存の装置と異なり、常温で稼働でき、廃水も出ないのが特長。東京電力福島第一原発事故で発生した汚染土への活用を想定している。

(伊東雅之)



三苫好治 准教授

磁性鉄粉は、コピー機のトナーなどに使われる磁気を帯びた酸化鉄の粉。マイナスの電荷を帯びる。プラスの電荷を帯びる放射性セシウムなどが染み込む土と混ぜて結合させ、磁力を当てて軽い小粒の土だけ取り除く。

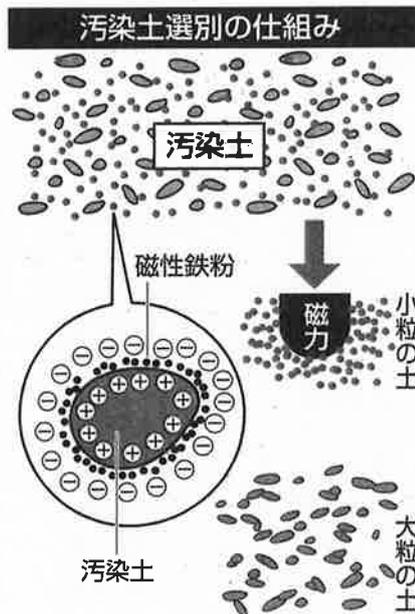
三苫准教授は「国が指定廃棄物として処理対象としている放射性セシウム濃度1倍当たり8千ppmを超す汚泥なども、小粒の土だけより分けて除去すれば基準値内に抑えられる」と説明する。同2万3600ppmの高濃度汚染土を使った実験では、全体の重さの

合、小粒だけで構成される土は、大粒だけの土より、全体の土の表面積が広くなり、付着・浸透する放射性物質も多くなる。

試作機製造へ 環境に優しく低コスト

27%を処理すれば、残りは8千ppm以下の土として処理せずに済む、との結果が出た。今月初め、科学技術振興機構(JST)の補助金事業に選ばれ、試作機製造の見通しが立った。汚染土と磁性鉄粉の混合工程と、磁力による土の分離工程をつないだ構造。JSTの補助金など総額6千万円の事業費で三苫准教授と三和テックが共同で取り組む。

三苫准教授は「磁力の強さや鉄粉の量を調節すれば、さまざまな濃度で放射性物質を含む土を取り除ける。まずは被災地で実用を兼ねた実験をしたい」と話している。



県立広島大の6人グループ結成



サロンで披露する出し物の練習をするメンバー

若者。パワーで
江田島元気に

6/30中国

4日サロン参加

江田島市に出向き、高齢者とふれあうボランティアグループを、県立広島大（広島市南区）の女子学生がつくった。島を元気にしてほしいと、江田島市社会福祉協議会が大学に依頼した。若者の行動力や発想に期待している。

たと力を込める。週1回集まり、どんな活動をするか話し合った。手始めに7月4日、地元の高齢者が集う大柿町のサロンに顔を出す。島名物の大豆うどんを一緒にこしらえ、手品を披露しようと考えている。

市社協は交通費を出し、行事の情報提供はするが、活動は一切学生に委ねる。未永く取り組みを続けてほしいと願うからだ。市内に大学はなく、20歳前後の若者のパワーは貴重という。

木愛梨さん(19)は「自主性を尊重してもらえ分、責任を感じる。高齢者と触れ合いながら、他にできることも探していきたい」と張り切っている。

(貞末恭之)

グループ代表の佐々

H27. 7. 24 (金)

広島県産の野菜や肉を使った料理を試作する学生



県立広島大(広島市南区)の学生が、県内産の食材を主な食材にした料理のレシピを考案し、23日に同大であった試食会で披露した。
7/24 中国

学生が腕により
広島食材レシピ
県立広島大で披露

学生が講師を務める料理教室で紹介するなどしてPRする。

と和牛を煮込んだ。小麦粉でとろみを付けるのがポイントという。

地元の食材の消費拡大につなげる目的で、管理栄養士を目指す人間文化学部の4年生4人が4月から試作を重ねた。カタクチイワシの南蛮漬けと、シイタケや白ネギ入りのシチューの2品。南蛮漬けは焼いたカタクチイワシに酢と合わせトマトソースをかけ、甘みを出す。トマトソースがベースのシチューは県産の野菜

南区の2公民館で8、9月に開くお年寄り対象の料理教室のメニューにする予定。産直市などでの試食会も検討する。吉田友さんは野菜を角切りなどにして素材を生かし、幅広い世代が食べやすいように工夫をした。多くの人に楽しんでほしい」と話していた。

(有岡英俊)

H27.7.28(火)

大学生が おもてなし研究部



発足式で「おもてなし研究部」のパネルを掲げる大学生

旅行者に優れた対応をする広島県内の宿泊施設や飲食店を大学生が発掘する「おもてなし研究部」が発足した。観光客の増加

7/28中国

広島50人 優れた宿泊施設・飲食店発掘

を目指す県の結成呼び掛けに、広島市内3大学の学生50人が応じた。県内各地を訪れて探し、県の観光表彰制度への応募を促すなどする。

県立広島大(広島市南区)の10人と比治山大(東区)の11人、安田女子大(安佐南区)の29人で結成した。ホテルや旅館、飲食店を訪ね、おもてなしの取り組みを聞き取る。10月中旬までに、ホテルなどを経営する約200の企業・団体を訪問する目標を掲げる。

県は、観光客が心地よく過ごすための優れた取り組みを表彰する「観光地ひろしま！おもてなしアワード」を2013年度に創設。研究部の部員は、アワードへの応募も呼び掛ける。

24日に県庁であった発足式で、任命証を受け取った安田女子大現代ビジネス学部1年池田千華さん(18)は「外国人観光客が瀬戸内しまなみ海道を訪れた際に立ち寄る飲食店を調べたい」と話していた。(中島大)

選手にスポンジを渡し声援を送る中学生



島内外の市民

トライアスロンさぎしま

力合わせ支援

三原市の佐木島で30日にあったトライアスロンさぎしま大会には、市内の中学生や県立広島大三原キャンパスの学生たち約120人のボランティアが駆

力所では、駆け抜ける選手に水を含んだスポンジや飲み物を手渡し、「ファイト」と声をからした。第二中3年岡本匡弘君(15)は「選手が力を発揮する手助けが少しでもできた。感謝の言葉をもらい、うれしかった」と笑顔だった。

島の女性グループたちも地元食材を使った料理の販売で盛り上げた。御畑誠一実行委員長は「島は高齢化が進み担い手不足が課題だが、島民と島外のボランティアが一つになって大会を守っていききたい」と話していた。

(山本庸平)

男女総合の優勝者を除く上位入賞者は次の皆さん。(敬称略)

- 男子総合 ①中原久登(31) ②下松市 2時間29分49秒 ③今井規貴(38) ④三原市 2時間30分12秒
- 女子総合 ①山内麻代(29) ②江田島市 2時間34分40秒 ③殿山恭代(53) ④福山市 2時間36分15秒

(25面関連)

給水所と救護所計8

事例3／男性高齢者の料理教室の支援 1/15 市民市政

県立広島大学(南区)

高齢者の「食」を提案



▲試食後は栄養についてのクイズタイム

◀左から、岡野さん、吉田さん、藤井さん、三島さん

健康科学科公衆栄養学研究室の岡野さん、吉田さん、藤井さん、三島さん(いずれも4年)は、地域の公民館の男性高齢者グループの料理教室で、年に数回、料理の講師を務めます。8月に行われた教室で4人が選んだ献立は、高齢者の骨粗しょう症予防のため、イワシの南蛮漬けトマト風味、牛乳を使った茶碗蒸し、小松菜の胡麻和えというカルシウムとビタミンDを多く含むメニュー。10回以上の試作を繰り返し当日に備えました。

食材の買い出しから調理、試食まで参加者と一緒に行います。調理中も食材の切り方などちょっとしたことで話がはずみ、試食後は栄養についてのクイズなども行いました。参加者からは「一緒に作って食べて、活力がわいた」などの感想をいただきました。

4人は「地域の皆さんと直接話すことで食生活や悩みなどが分かり、管理栄養士を目指す私たちには勉強になります。参加者の皆さんが自宅でも料理してくれるとうれしいです」と話します。

H27.10.23 (金)

環境科学科 2年

10/23 中刊 住民の底力 第3部 サポーター ③

稲刈りが最盛期の9月下旬、庄原市高野町の田んぼにシャギー姿の若者3人が集まった。坂神横一さん(20)たち県立広島大庄原キャンパスの学生でつくるサークル「アーマースハンス」のメンバー。自然農法で米を作る渡辺拓昭さん(44)から教わりながら稲刈りやはで干しをした。

LINEで募集

何か地域に貢献できないか。こんな思いからサークルが生まれたのは2004年。当初4人だ

寄り添い地域農業守る



渡辺さん(左端)から、はで干しの意味や要領を教わりながら作業を手伝う坂神さん(右端)たち

学生の支え

「学業の参考になる上、おいしい田舎料理をいただきながら農業の話も聞かせてもらえる」とメリットを説く。

「都市部からの学生も、普段できない農作業を体験できるのが一番の魅力。口コミで広がっている」と尾崎寛子部長(19)は説明する。無料通信アプリLINE(ライオン)で参加を募り、希望者が現地へ赴く。「自分らの手作業が多いので助かる」と喜ぶ。土壌研究に関心を持つ坂神さんは

「意味や効果を理解した上で作業する方が、参加の喜びや興味を感じてもらえるはず。われわれにも何か持ち帰ってもらおうという意識が必要」と渡辺さん。一方、応じきれない依頼への対応を課題に挙げる尾崎部長は「少しでもメンバーが参加してみたくなる環境づくりを考えたい」と話す。こうして寄り添いの姿勢が、県北で芽生えた、地域と学生の絆を強く、

(伊東雅之)

環境科学科 2年

H27.11.28(土) ~ 30(月)

11/30 中国
**大学生カフェ
 笑顔の輪**

被災地
 から



コーヒーや紅茶を飲みながら、地元住民（手前中）と会話を弾ませる大学生

安佐北区 民家に出張「交流拠点に」

広島土砂災害の被災者たちにくつろぎの場を提供しようと、広島市安佐北区でカフェを毎月開いている県内の大学生グループ「にじカフェ」が29日、同区可部東5丁目の民家に出向き、初めて出張カフェを開いた。被災者に好評だったため、「第2弾も開きたい」と意気込んでいる。（中川雅晴）

昨夏の災害時、近くの根 同グループは、土砂撤去谷川の氾濫や土右流で、51のボランティアをした学生世帯のうち21世帯が被災しが昨秋に結成。同区可部3丁目のNPO法人のレストに開催。県立広島大と広島ランを借り、ことし2月か文教女子大の学生計5人ら月1、2回カフェを開き、訪れた被災者たち18人被災者をもてなしている。にコーヒーを入れ、焼き芋 イベントでの出店を含め、や菓子でもてなした。延べ200人以上が来店する住民によると、同町内会るなど好評で、出張カフェには集会所がなく住民同士を計画した。が疎遠になりがちだとい。県立広島大4年石川智美う。自宅が床下浸水した井代表(22)は「ほかの被災地上光江さん(84)は「若い学でも出張カフェを開きた生とおしゃべりすると元気い。住民の交流を育む拠点が出る。とてもうれしい」として地域を元気づけられれば」と力を込める。

庄原市内の産学連携で、庄原ブランドのゆずポン酢が生まれた。地元産の原料にこだわり、酢は酒かすの風味が漂う赤酢などを使い仕上げた。25日から同市新庄町のかんぼの郷庄原などで販売する。

かんぼの郷庄原の登録商標「こりゃあ柚子れねえ〜」シリーズとなる「庄原のゆずぽん酢」。館内の料理やゆず湯温泉用に栽培しているかんぼの郷のユズ、地元酒蔵から仕入れた酒かすで作る後藤商店（東城町）の赤酢、港屋木山本店（西城町）のしょうゆなどを原料にしている。しょうばら産学官連

携推進機構があっせん。県立広島大の武藤徳男名誉教授(66)が、専門の食品科学などの見地からアドバイスした。

「ポリフェノールが豊富で、地元の味覚としても親しまれているユズをもっと利用できないか」と昨年秋から共同研究してきた。武藤名誉教授は「観光客はもちろん市民にも味わってほしい。庄原焼きにもぜひ」と話す。

「こいくち」「うすくち」の2種。200ミリ入りで各500円。後藤商店も店とインターネットで販売する。かんぼの郷庄原☎0824(73)1800。

(伊東雅之)

庄原の産学連携 ゆずポン酢誕生

きょうから販売 ^{1/25} 中国



庄原市内の企業と大学の連携で生まれた「庄原のゆずぽん酢」

三原の空き家調べ卒論

三原 県立広島大生2人 活用策も提案

三原市の県立広島大保健福祉学部の4年生2人が、同市本町の空き家について調査し、卒業論文にまとめた。住民の考えや住環境の特徴を分析し、空き家の活用策も提案した。2人は、同学部の吉

本町の住民を招いて開かれた、空き家に関する調査報告会



田倫子講師(福祉住環境)のゼミで学ぶ弦本浩枝さん(22)と新居美咲さん(22)。昨年10月に本町の68〜85歳の13人をインタビューした。市が本年度に実施した空き家調査のデータを分析したりした。

では住宅や店舗、古い寺院が残る地域ではゲストハウスなどといった活用策も示した。住民に、自身がなくなつた後の家の対応

を聞いたところ、13人中9人が決まっていなと答えたという。弦本さんは「地域の課題と捉えてほしい」と話す。

新居さんは、高齢者が自立した生活を地域で送るための課題を取り上げた。吉田講師と新居さんが9日、同町の集会所で住民に報告。住民からは「町内会が、空き家を使いたい人と所有者の橋渡し役になれば」などの声が出た。同大や市、経済団体などをつくる三原地域連携推進協議会の一環として調査した。

(山本庸平)

弦本さんは、本町の空き家率は20%前後と説明。町内のエリアごとに「長屋が多い」「道幅が狭く建て替えできない」「など特徴をまとめた。JR三原駅に近い地域

大学 LINE活用増

1/9 中国

県内21校中16校 高校生向け情報発信

スマートフォンなどの無料通信アプリ「LINE(ライン)」を使い、高校生向けに情報発信する大学が増えている。高校生のライン利用率が高いのに着目。県内の大学21校中、少なくとも16校が活用している。

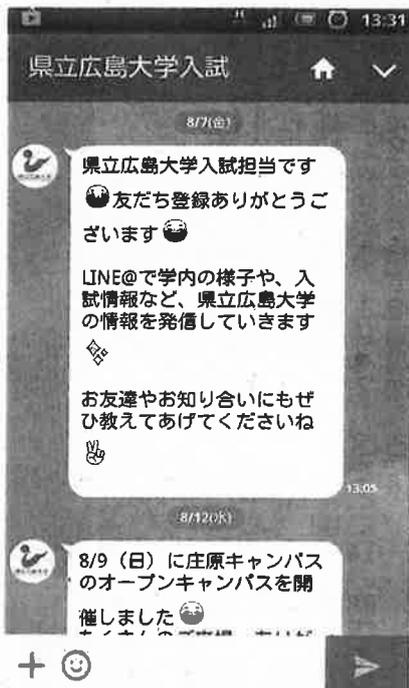
(新谷枝里子)

「友だち」感覚に期待

広島市南区の県立広島大学は8月、ラインの公式アカウントを開設した。希望者がQRコードを読み込むなどして「友だち」になると、入試日程やオープンキャンパスの案内などのメッセージを受け取れる。

「友だち登録ありがとうございます」というメッセージが、LINE@で学内の様子や、入試情報など、県立広島大学の情報を発信していきます。お友達やお知り合いにもぜひ教えてあげてくださいね。

「友だち登録ありがとうございます」というメッセージが、LINE@で学内の様子や、入試情報など、県立広島大学の情報を発信していきます。お友達やお知り合いにもぜひ教えてあげてくださいね。末に絵文字を付け、親しむやすい文章を心掛ける。担当者は「さまざまな情報発信ツールの一つとして効果があると説明する。」



県立広島大がラインで発信したメッセージ。絵文字を付け、親しむやすくした

多くの大学は、学校へのスマホ持ち込みが禁止されている生徒に配慮し、午後5時以降に送信。オープンキャンパスで飲み物がもらえるクーポンを付けるなど工夫も凝らす。

ライン社と提携し、大学向けにサービスを提供しているティスコ(東京)広島支社によると、営業活動を始めた13年11月以降、ラインを利用する大学が急

増。国内で5千万人以上という利用者数や、若年層ほど利用頻度が高い点などに関心が高いという。

差異化を図る大学もある。安田女子大(安佐南区)は「メッセージを頻繁に送ると、うっとうしいと思われる可能性がある」として、生徒が自らアクセスする「ホーム画面」の情報をお小まめに更新している。

ソーシャル・ネットワークワーキング・サービス(SNS)に詳しい聖学院大(埼玉・上尾市)の山下研一・広報センター所長(61)は「パンフレットやホームページと違い、在学生や職員の間で情報が伝

わるような文章がラインの特徴」と説明。少子化で学生獲得競争が激化する中、幼少期からネット環境に親しんできた「デジタルネイティブ世代」の高校生に向け「今後ますますさまざまなSNSの利用が広がる」とみている。